

国内の番号計画のインストール

- •国内番号計画の概要(1ページ)
- ・国内の番号付け計画の前提条件(1ページ)
- •国内番号計画インストールのタスクフロー (2ページ)

国内番号計画の概要

Unified Communications Manager では、デフォルトで北米電話番号計画(NANP)を提供しています。設定されているダイヤルプラン要件が異なる国の場合は、シスコの国際ダイヤルプランをインストールし、それを使用して、要件特有の一意の番号計画を作成できます。

番号計画には、数字破棄命令(DDI)と、その番号計画に固有のタグが含まれています。これ らの項目は、コールルーティングを設定するときに、番号計画に適したルーティングルールを 作成するために使用できます。

この章では、国内番号計画をインストールする方法について説明します。国内番号計画の使用 の詳細については、『Unified Communications Manager ダイヤルプラン導入ガイド』 (http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/

unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html) を参照してください。

国内の番号付け計画の前提条件

北米から国外への国番号計画をインストールする場合は、現在のリリース用の国際ダイヤルプ ランが含まれている Cisco Option Package (COP) ファイルをダウンロードします。 COP ファイ ルでは、名前付けの規則 IDPv.x が使用されています。次のように、Cisco のウェブサイトから 入手できます。

https://software.cisco.com/download/navigator.html

このファイルを、Unified Communications Manager がアクセスできる外部 FTP サーバまたは SFTP サーバに配置します。

国内番号計画インストールのタスク フロー

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	COP ファイルのインストール (2 ペー ジ)	(オプション) 北米以外の国の番号計 画をインストールするには、現在のリ リースの国際ダイヤルプランが含まれて いる Cisco Option Package (COP) ファイ ルをダウンロードします。
ステップ2	国内の番号計画のインストール (3 ページ)	クラスタ内のそれぞれの Unified Communications Manager ノードに国内の 番号計画をインストールします。北米 (システムデフォルト)以外の国におけ る国内の番号計画をインストールしてい る場合にのみ、次の手順を実行します。
ステップ3	CallManager サービスの再起動 (4 ページ)	変更は、サービスを再起動した後に有効 になります。

手順

COP ファイルのインストール

国際ダイヤル プランを含むシスコのオプション パッケージ (COP) ファイルをインストール するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ1	Unified Communications Manager のパブリッシャノードで、この手順を開始します。 Cisco Unified
	Communications OS 管理で、[ソフトウェア アップグレード(Software Upgrades)] > I[インス
	トール(nstall)] を選択します。
	[Software Installation/Upgrade]ウィンドウが表示されます。
ステップ 2	[ソース(Source)] フィールドで、[リモートファイル システム(Remote File System)] を選択 します。
ステップ3	[ソフトウェアのインストール/アップグレード(Software Installation/Upgrade)]ウィンドウで、 フィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、「関連項目」 を参照してください。
ステップ4	[次へ (Next)]をクリックします。 ウィンドウが更新され、使用可能なソフトウェアのオプションとアップグレードのリストが表 示されます。

- ステップ5 [オプション/アップグレード (Options/Upgrades)]ドロップダウンリストで、[DP COP]ファイルを選択して、[次へ (Next)]をクリックします。
 [インストールファイル (Installation File)]ウィンドウが開き、FTP サーバからファイルをダウンロードします。
- **ステップ6** [チェックサム(Checksum)]ウィンドウが表示されたら、そのチェックサムの値をダウンロードしたファイルのチェックサムの値と比較検証します。
- **ステップ7** [次へ(Next)]をクリックして、ソフトウェア アップグレードに進みます。 警告メッセージとして、インストールするために選択した DP COP ファイルが表示されます。
- **ステップ8** [インストール (Install)]をクリックします。 [インストール状況 (Install Status)]ウィンドウが表示されます。
- **ステップ9** [終了 (Finish)]をクリックします。
- **ステップ10** Unified Communications Manager サブスクライバノードで、この手順を繰り返します。 クラス タ内の全ノードに COP ファイルをインストールする必要があります。

関連トピック

COP ファイルインストールのフィールド (3ページ)

COP ファイル インストールのフィールド

フィールド	説明
ディレクトリ (Directory)	COP ファイルが配置されているディレクトリを入力します。
[リモートサーバ (Remote Server)]	COP ファイルが配置されているサーバのホスト名または IP アドレスを入 力します。
[リモートユーザ (Remote User)]	リモート サーバのユーザ名を入力します。
[リモートパス ワード (Remote Password)]	リモート サーバのパスワードを入力します。
[転送プロトコル (Transfer Protocol)]	リモート サーバと接続する場合に使用するプロトコルを選択します。

国内の番号計画のインストール

北米(システムデフォルト)以外の国における国内の番号計画をインストールしている場合に のみ、次の手順を実行します。 クラスタ内のそれぞれのUnified Communications Manager ノードに国内の番号計画をインストールします。 Unified Communications Manager publisher ノードから始めます。

手順

- ステップ1 Cisco Unified Communications Manager Administration で、[コールルーティング(Call Routing)]> [ダイヤルプランインストーラ(Dial Plan Installer)]を選択します。
- ステップ2 検索条件を入力して [検索 (Find)]をクリックします。
- **ステップ3** インストールするダイヤルプランのバージョンを[利用可能なバージョン(Available Version)] ドロップダウンリストから選択します。
- **ステップ4** [インストール (Install)]をクリックします。 ステータスに、ダイヤルプランがインストールされたことが表示されます。
- **ステップ5** クラスターのサブスクライバ ノードごとにこの手順を繰り返します。

CallManager サービスの再起動

手順

- ステップ1 Cisco Unified Serviceability インターフェイスで、[ツール(Tools)]>[コントロールセンター 機能サービス(Control Center Feature Services)]を選択します。
- ステップ2 [サーバ (Servers)]ドロップダウンリストから、Cisco Unified Communications Manager サーバを選択します。
 CMの[サービス (Services)]領域で、[サービス名 (Service Name)]列に Cisco CallManager が表示されます。
- ステップ3 Cisco CallManager サービスに対応するラジオ ボタンをクリックします。
- **ステップ4 再起動(Restart)**をクリックします。 サービスが再起動し、「サービスは正常に再起動しました(Service Successfully Restarted)」 というメッセージが表示されます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては 、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている 場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容につい ては米国サイトのドキュメントを参照ください。